

## 11. 住民マナーについて

### Q44 あなたは普段生活していて、地域住民から

以下のような注意を受けたことがありますか〔複数選択可〕

「その他」を選択したものが最も多く 12.8%である。しかしこの「その他」における記述欄を見ると、そのほとんどが「特になし」や「ありません」などとなっている。選択肢に「注意を受けたことがない」というものがなかったために「その他」を選択したようだ。この設問は複数選択可であることから、大きく見積もって 19.7%（「その他」以外の合計値）の学生、すなわち 2 割ほどの学生が地域より注意を受けたことがあると換算される。最も多いのが「ゴミ処理マナー」で 5.8%、次いで「夜間騒音」の 5.3%、そして「自転車運転マナー」の 4.5%となっている。地域より注意を受けた男子学生の推測値は 22.8%、女子学生は 15.8%であり、男子学生のほうが住民マナーに問題があるようだ。全学の上位 3 つは男女においても上位の 3 つである。しかし男子学生の「ゴミ処理マナー」や「夜間騒音」に関しては共におよそ 7%と、一般的誤差と言われる 5%を上回っていることから、大学として取り上げて指導すべき事項なのかもしれない。

地域より注意を受けた学生の推測値は、2001 年度 19.5%、2005 年度 27.2%、2010 年度 24.9%、2015 年度 19.7%となり 2005 年度以降徐々に減少傾向にあると考えられる。山口大学では「マナー」に関する指導をオリエンテーションに組み込み、また学期始めには正門前などで自転車マナー指導などにあたっている。2005 年度の「自転車運転マナー」は 8.0%に対し、2015 年度は 4.5%と下がっており、こうした効果が表れているのかもしれない。

表 11-1-a Q44 の集計結果（全学・男・女別）

	全学	男	女
ゴミ処理マナーが悪い/分別しない、指定日に出さない	5.8	7.0	4.4
夜間の騒音の発生源となっている	5.3	6.8	3.1
バイク、自動車などの違法駐車が多い	1.5	1.8	1.1
バイク、自動車などの運転マナーが悪い	0.9	0.8	1.1
自転車の運転マナーが悪い	4.5	4.6	4.4
地域の行事や共同作業に参加しない	1.7	1.8	1.7
その他	12.8	13.9	11.6

表 11-1-b Q44 の集計結果（全学に関する調査年度別）

	2015 年度	2010 年度	2005 年度	2001 年度
ゴミ処理マナーが悪い/分別しない、指定日に出さない	5.8	7.0	6.1	5.1
夜間の騒音の発生源となっている	5.3	6.6	7.2	6.3
バイク、自動車などの違法駐車が多い	1.5	1.9	2.5	1.9
バイク、自動車などの運転マナーが悪い	0.9	2.1	0.9	0.7
自転車の運転マナーが悪い	4.5	5.4	8.0	3.7
地域の行事や共同作業に参加しない	1.7	1.9	2.5	1.8
その他	12.8	12.7	17.3	19.3